

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

資料2

太子町地域公共交通計画の評価等結果（令和6年度）

目 標	目標を達成するための 取組	調 査 方 法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
太子町を走る路線の利用者数				
近鉄バス（喜志循環線、阪南線計） 【策定時】約19,800人/月（≒約640人/日） 【目標値】約19,800人/月（≒約640人/日） ※金剛バス路線廃止直後のデータ基に算出	目標 1 地域にあった持続可能な地域公共交通網の形成 目標 2 みんなで支える地域公共交通	実績値	【達成状況】（令和6年度平均） 約21,300人/月（≒約700人/日） 【分析】 目標値を達成。地域に馴染んできたことから策定時（金剛バス路線廃止直後）よりも増加していることが考えられる。	・両指標とも目標値を達成。引き続き、利用者数の維持・向上に向け、取り組みを行う。 ・令和7年3月に金剛ふるさとバス沿線等地域公共交通計画が策定された。この計画に基づき、4市町村が連携して利便性向上、利用促進に向け取り組みを行う。 ・上記も踏まえ、町独自でも太子町地域公共交通計画に基づき、取り組みを行う。
太子町コミュニティバス 【策定時】平日：約150人/日 休日：約50人/日 【目標値】平日：約200人/日 休日：約70人/日 ※金剛バス路線廃止直後のデータ基に算出	目標 3 地域公共交通を活用した多様な人の交流に対応する取組		【達成状況】（令和6年度平均） 平日：213人/日 休日：115人/日 【分析】 目標値を達成。上記に加え、施設利用券等の効果も含まれると考えられる。	
喜志駅前、上ノ太子駅前バス停の乗降人数				
喜志駅前 【策定時】平日：346人/日 休日：155人/日 【目標値】平日：350人/日 休日：160人/日 ※金剛バス路線前の利用実態調査を基に算出	目標 1 地域にあった持続可能な地域公共交通網の形成 目標 2 みんなで支える地域公共交通	利用実態調査	【達成状況】（令和6年度調査） 平日：218人/日 休日：240人/日 【分析】 一部目標値を達成。策定時数値は金剛バス路線（太子線、喜志循環線）を計上しており、本計算では喜志循環線のみを計上。また、上ノ太子駅にシフトしていることが考えられる。	・一部目標値を達成。引き続き、利用者数の維持・向上に向け、取り組みを行う。 ・令和7年3月に金剛ふるさとバス沿線等地域公共交通計画が策定された。この計画に基づき、4市町村が連携して利便性向上、利用促進に向け取り組みを行う。 ・上記も踏まえ、町独自でも太子町地域公共交通計画に基づき、取り組みを行う。
上ノ太子駅前 【策定時】平日：138人/日 休日：83人/日 【目標値】平日：140人/日 休日：90人/日 ※金剛バス路線前の利用実態調査を基に算出	目標 3 地域公共交通を活用した多様な人の交流に対応する取組		【達成状況】（令和6年度調査） 平日：179人/日 休日：100人/日 【分析】 目標値を達成。上ノ太子駅を拠点としたコミバス路線体系としたため増加したと考えられる。	
地域公共交通への公的資金投入額				
喜志循環線、阪南線の運行に係る費用 【策定時】約113,500千円/年 【目標値】約113,500千円/年	目標 1 地域にあった持続可能な地域公共交通網の形成	町所有データ	【達成状況】（令和6年度） 約103,908千円/年 【分析】 目標値を達成。策定時に想定した運行経費より下回ったことによるもの。	・目標値を達成。引き続き、費用を抑えつつ、効果を最大限引き出せるよう取り組みの検討・実施を行う。
太子町コミュニティバスの運行に係る費用 【策定時】約48,000千円/年 【目標値】約45,000千円/年	目標 2 みんなで支える地域公共交通に対応する取組		【達成状況】（令和6年度） 約39,924千円/年 【分析】 目標値を達成。運行管理委託料の減少によるもの。（車両購入費（約51,313千円）は初期費用のため上記に計上していない。）	

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組
地域公共交通の収支率				
近鉄バス喜志循環線、阪南線計 【策定時】29%【目標値】29%	目標1 地域にあった持続可能な地域公共交通網の形成 目標2 みんなで支える地域公共交通に対応する取組	町所有データ	【達成状況】（令和6年度） 53% 【分析】 目標値を達成。経費が想定より下回ったこと、利用者数が増加したことから収支率が向上した。	・目標値を達成。引き続き、費用を抑えつつ、効果を最大限引き出せるよう取り組みの検討・実施を行う。
太子町コミュニティバス 【策定時】23%【目標値】30%			【達成状況】（令和6年度） 32% 【分析】 目標値を達成。上記の経費減少によるもの。	
通勤・通学定期券の購入件数（実人数） 【策定時】42名【目標値】70名	目標1 地域にあった持続可能な地域公共交通網の形成 目標2 みんなで支える地域公共交通に対応する取組	実績値	【達成状況】（令和6年度末時点） 77人 【分析】 目標値を達成。令和6年8月からLINE定期券を運用し、定期利用者向上に寄与。	・目標値を達成。引き続き、LINE定期券の運用を実施する。 ・この他、令和7年度に交通系ICカード対応のキャッシュレス決済機を導入する。
イベント実施回数 【策定時】－【目標値】2回/年	目標2 みんなで支える地域公共交通 目標3 地域公共交通を活用した多様な人の交流に対応する取組	実施回数	【達成状況】（令和6年度） 3回 【分析】 年間目標値を達成。引き続き、利用促進等のイベントを企画・実施する。	・年間目標値を達成。 ・令和7年度は金剛ふるさとバスの利用促進に向けた取り組みとして“ミステリーツアーイベント”を実施予定。 ・自動運転バスなど新モビリティ導入に向けたイベントを大阪府と連携して実施予定。
商業施設周辺バス停の乗降人数 【策定時】平日：14人/日 休日：2人/日 【目標値】平日：20人/日 休日：10人/日	目標3 地域公共交通を活用した多様な人の交流に対応する取組	利用実態調査	【達成状況】（令和6年度調査） 平日：16人/日 休日：11人/日 【分析】 目標値には達していないが増加傾向。令和7年度に商業施設前バス停を設置予定のため、増加が期待できる。	・商業施設のアクセス強化を図り、令和7年度10月に商業施設前にバス停を新設予定。利用状況を見ながら新たな取り組みを検討する。